

令和7年度

運営に関する計画

最終評価



大阪市立加美東小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、数年前における極度の学力不振や荒れに伴う学級崩壊といった状況を、教職員一丸となって子どもたちの指導に当たり克服してきた。現在においては、学校の方針や対応姿勢を地域・保護者に理解いただきながら穏やかな学校運営がなされている。また、学校の研究方針を策定するにあたり、教科にとらわれるのではなく、広く子どもたちを学びに向かわせたいとの理念のもとに「知的好奇心を高める授業の探求」を研究テーマに定め、子どもたちの達成感や充実感を高める取り組みを推進してきた。結果として、全国学力学習状況調査において、国語と算数は全国平均同水準となっている。小学校学力経年調査では、どの学年も大阪市平均を超える数値を上げることができた。今後も本校の良き文化を伝承し、地域・保護者とも手を携え、「キラリと光る学校」を目指していきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

学校アンケートの「安全で安心できる学校」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7度末までに90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7度末までに90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校アンケートの「教育環境の充実」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7度末までに90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を男女とも71.1%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く。]
- ・ゆとりの日の設定を月2回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては3日以上設定する。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

☆各取り組み内容の達成状況 (A)(B)(C)

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- (A) 取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】
- (A) 取組内容② 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】
- (A) 取組内容③ 【基本的な方向2、豊かな心の育成】

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- (B) 取組内容① 【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】
- (B) 取組内容② 【基本的な方向5、健やかな体の育成】

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- (B) 取組内容① 【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】
- (B) 取組内容② 【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

☆総括 (●成果 ▲課題 ◆次年度に向けて)

- (A)3項目が(B)評価が4項目と概ね目標を達成している。
- 児童の登校状況を職員室で集約し、不登校ぎみの児童に対して学校全体で対応することができた。また、区役所と連携して対応することができた。
- 小学校学力経年調査の結果3年～6年(計18科目)で8科目大阪市平均を上回った。
- 「教員の働き方改革」については、本年度より通知表の前後期制、業務内容の改善や多数ある行事の精選などをはかった結果、教員の時間外勤務時間が昨年度より減少した。
- ▲家庭環境(生活リズムの乱れ)は原因で欠席が続く児童、遅刻が多い児童、長期欠席が続いていた児童に対して区役所等関係諸機関と連携して登校状況の改善。
- ◆引き続き、起こりうる課題に対して「早期予防・早期発見・早期対応」を大切にし、大人同士の連携をより密にしていく。
- ◆引き続き、業務内容の改善や多数ある行事の精選などをはかり、効果的な教育課程を実施していく。

(様式2)

大阪市立加美東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>【R7年経年調査】81.82%</p> <p>3年80%【大阪市平均85.1%】 4年78.3%(78.0%)【大阪市平均84.4%】 5年87.3%(70.9%)【大阪市平均82.7%】6年81.7%(88.7%)【大阪市平均79.9%】 ()内は昨年度の結果</p> <p>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 令和6年度 不登校在籍比率 2.08% 令和7年度 不登校在籍比率 2.97%</p> <p>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】互いを認め合い、より良い集団を目指す子どもを育てる。</p> <p>・いじめや不登校、問題行動、児童虐待に関して、保護者と地域、関係諸機関と連携し、未然防止及び早期発見に努める。発生事案については、個に応じた対応・解決へ向けて組織的に行う。児童理解の場を通じて教職員間で情報を共有し、指導の方向性を一致させて行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・アンケート調査で把握したいじめ事案について、聞き取りを行い相手との話し合いの中で指導を行い問題解決した割合を100%にする。</p> <p>・学校アンケート〔児童用〕「学校が楽しい」、〔保護者用〕「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、肯定的な回答割合を前年度(93.7%・96.5%)同等程度にする。</p> <p>【R7年いじめの解消】 100%(7件中 7件解消) 1月30日現在</p> <p>【R6年(前期)児童アンケート】 93.7% 【R6年(前期)保護者アンケート】 97.4% 【R6年(後期)児童アンケート】 93.7% 【R6年(後期)保護者アンケート】 96.5% 【R7年(前期)児童アンケート】 88.6% 【R7年(前期)保護者アンケート】 97.6% 【R7年(後期)児童アンケート】 89.9% 【R7年(後期)保護者アンケート】 96.7%</p>	A
取組内容② 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 安全環境の実現	A

<p>・安全で安心して活動できるよう、施設の整備とともに、行事の精選や学校のルールを改善する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校アンケート〔保護者〕「学校は子どもの安全確保に努めている」の項目で、肯定的な回答割合を前年度(94.6%)同等程度にする。</p> <p>・学校管理下における災害の発生件数(休み時間の運動場での怪我)を、昨年度(4件)より減少させる。</p> <p>【R6年(前期)保護者アンケート】97.0% 【R6年(後期)保護者アンケート】94.6% 災害の発生件数…R6年9月末(8件) 災害の発生件数…R6年1月末(11件)</p> <p>【R7年(前期)保護者アンケート】96.7% 災害の発生件数(運動場)…R7年9月末(4件)←正しくは0件</p> <p>【R7年(後期)保護者アンケート】96.9% 災害の発生件数(運動場)…R8年1月末(1件)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】人権教育の推進とキャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感のある子どもを育てる。</p> <p>・人権教育の校内研修を年1回以上実施し、校外研修に年2回以上参加し、人権教育に基づき学級活動中心に集団育成を行い、一人ひとりが居場所のある学級をつくる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校アンケート(児童)1～4年生「将来の夢や目標をもっていますか」5・6年生「将来、どんな大人になりたいか考えることがありますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分にはよいところがありますか」の項目で、年度初めと年度末を比較し、肯定的な回答割合を増加させる。</p> <p>【R6年(前期)児童アンケート】(夢・目標) 89.7% 【R6年(前期)児童アンケート】(役に立つ) 97% 【R6年(前期)児童アンケート】(よいところ) 88.7% 【R6年(後期)児童アンケート】(夢・目標) 89.1% 【R6年(後期)児童アンケート】(役に立つ) 97.4% 【R6年(後期)児童アンケート】(よいところ) 88.5% 【R7年(前期)児童アンケート】(夢・目標・大人) 84.9% 【R7年(前期)児童アンケート】(役に立つ) 94.5% 【R7年(前期)児童アンケート】(よいところ) 85.8% 【R7年(後期)児童アンケート】(夢・目標・大人) 89.8% 【R7年(後期)児童アンケート】(役に立つ) 96.2% 【R7年(後期)児童アンケート】(よいところ) 85.6%</p>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>年度目標</p> <p>①【進捗状況】最も肯定的な「思う」という回答は目標の90%に達することはできなかった。しかし肯定的な回答の割合で見ると、97.5%という結果となった。</p> <p>【結果と分析】「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」のアンケートで最も肯定的な回答は目標に達することはできなかったが、「自分は友達を大切にしている」という意識は全学年98.2%の児童がもっており、「そう思う」と回答しているので、その気持ちをしっかりもたせ、今後も大切にさせていく。</p>	

②【進捗状況】不登校児童が昨年度は5名、本年度は6名となっているので、不登校籍比率は上がっている。

【結果と分析】家庭環境でしんどい児童、遅刻が多い児童、長期欠席が続いていた児童がこれまでもいたが、学年が上がるにつれて本人の意思で休むことが増えてきた。

③【進捗状況】改善傾向はみられない。昨年度より出席日数が減少している。

【結果と分析】不登校の対象者は変わっておらず、家庭への協力も難しい。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

①【進捗状況】いじめ事案は7件上がったが、早急な聞き取り、早急な対応をすることで7件全て解消している。学校アンケート児童用の「学校が楽しい」の項目も、保護者用の「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目も前期や昨年度と同等程度の結果が出ている。

【結果と分析】日々子どもたちの行動や様子を教職員全員で見えていくことで早急な対応ができた。また月に1度の職員会議で児童理解の時間を設け児童の様子を共有することで他学年の子どもたちの様子も知ることができた。子どもたちが楽しく学校生活を送っていることや、学校での様子をお家で保護者に話してくれる児童が多いことから、保護者も安心して学校へ送り出してあげていると感じる。

②【進捗状況】学校アンケートの「学校は子どもの安全確保に努めている」の項目で肯定的な割合は目標を達成できている。休み時間の運動場での怪我の発生件数については1件であった。(休み時間に運動場で鬼ごっこをしていて転倒した際に左前腕手首を骨折)

【結果と分析】3学期から講堂の工事が始まるので、それに合わせて運動場の使い方のルールを変更した。2/3 現在では、大きな混乱は見られないので、このまま安心安全な運動場の使い方を継続していきたい。また4月から本格的な工事が始まることに合わせて、一輪車や竹馬の場所の移動も検討していく。

③【進捗状況】今年度前期の結果より肯定的な意見の割合が上がった。

【結果と分析】高学年は委員会や学級代表またたて割り班での活動など様々な学校行事を通して活躍することで、自己肯定感・自己有用感が育ってきた。またバイトルのキャリア教育を通して様々な職業を知ること、将来について考える機会を持ち、それにより目指す姿を考えることができた。低・中学年も兄弟学年との交流で、下の学年に学習したことを伝えたり、教えたり一緒に活動することで、高学年のお兄さんお姉さんに近づいていると感じたのではないかと考える。また全学年との交流で高学年の活躍に憧れをもったり人の役に立ちたいと感じたりする児童が増えてきたと考えられる。年間を通して教職員の人権研修を定期的に行い、全職員で全学年の児童を育ててきた。そのため児童も安心して学校生活を送ることができることで、上記のような結果の土台を作ることができている。

次年度への改善点

年度目標

①今後もいじめについて考える週間の時期、そして道徳の授業や平和学習などの取り組みの中、または日々の生活の中でその都度いじめについての学習には取り組んでいき、一人一人が過ごしやすい環境に努めていく。また、いじめに対して否定的な回答の児童に対して、学習や生活の場面で意識改善に努めていく。

②今後も続けて行政と連絡を取り合いながら、家庭や本人にアプローチしていく。(保護者の問題で子どもが登校できない家庭にはどうすることもできない状況である。)

③学校としては変わらず引き続きアプローチしていく。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

- ①いじめ事案が起きないようにまずは学級経営をしっかり行う。そのうえで、教職員全員で全体の児童に関わり、楽しく安全に過ごせる環境をつくっていく。来年は講堂の建て替えがあるので、講堂が使用できず運動場も使える場所が制限される、そんな中でもなるべく子どもたちにストレスがかからないように楽しい行事や遊びを仕掛けていく。教材研究はもちろんのこと、楽しい授業づくりにも努めていく。
- ②来年度以降も日ごろのオートロックの徹底や日常的な保護者用名札の着用を呼び掛けていく。児童の下校時、オートロックのスイッチ切り替えができていないときがあり、傘で高い位置のスイッチを押そうとする姿が見られたので、スイッチの切り替えを忘れずに行っていく。防犯研修に関しても、どのような形で行うのかは検討が必要だが、継続して行っていくことで児童にも教職員にも防犯に関する意識が高まると考えられる。
- ③今年度と同じように学年に応じた取り組みをし、全校で関わり活動する時間を大切にする学校づくりを目指す。また、引き続き全職員で児童理解ができる場を設け、全職員で児童を育てる環境を作る。

大阪市立加美東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。</p> <p>【R7年経年調査】 46.1%</p> <p>3年 36.0%【大阪市平均 43.7%】 4年 58.7%(48.0%)【大阪市平均 41.8%】 5年 56.4%(50.9%)【大阪市平均 35.9%】 6年 33.3%(48.4%)【大阪市平均 40.7%】</p> <p>()内は昨年度の結果</p> <p>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を男女とも71.1%以上にする。</p> <p>【R7年経年調査】 68.72%</p> <p>3年 60%【大阪市平均 73.3%】 4年 73.9%(72.0%)【大阪市平均 71.6%】 5年 72.7%(72.7%)【大阪市平均 68.0%】 6年 68.3%(77.4%)【大阪市平均 63.8%】</p> <p>()内は昨年度の結果</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、基礎・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・公開授業や研修等を計画的に実施し、教員の指導力を向上させる。また、授業づくりの工夫を図り、児童の表現力を向上させる。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>・経年調査における算数科の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>・学校アンケートの「自分の考えを表現することができていますか」の項目で、肯定的な回答の割合を前年度より向上させる。</p> <p>・学校アンケートの「本を見たり、読んだりすることが好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を前年度より向上させる</p> <p style="text-align: right;">【R6年(前期)児童アンケート】(自分の考え) 78% 【R6年(前期)児童アンケート】(読書) 77.1% 【R6年(後期)児童アンケート】(自分の考え) 80.3% 【R6年(後期)児童アンケート】(読書) 81.6% 【R7年(前期)児童アンケート】(自分の考え) 76.3% 【R7年(前期)児童アンケート】(読書) 76.0%</p>	B

【R7年(後期)児童アンケート】(自分の考え) 78.6% 【R7年(後期)児童アンケート】(読書) 76.8%																																								
<p>取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動する楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級での体育や休み時間、全校児童参加のかけあし週間やなわとび週間の中で、運動に対する意欲を向上させる。 ・学期に1回健康チェック週間を設定し、健康に対しての意識を向上させる。 	B																																							
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートの「体を動かすこと（遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を90%以上にする。 ・健康チェック週間におけるアンケートの「昨日の夜は、早く寝ましたか」「今日は、早起きができましたか」「はんかち、ティッシュを持って来ていますか」「よい姿勢を心がけましたか」の項目で、肯定的な回答の割合を前年度より増加させる。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>【R6年(前期)児童アンケート】(体を動かす)</td><td>88.2%</td></tr> <tr><td>【R6年(1学期)児童アンケート】(早寝)</td><td>68%</td></tr> <tr><td>【R6年(1学期)児童アンケート】(早起)</td><td>80%</td></tr> <tr><td>【R6年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)</td><td>72%</td></tr> <tr><td>【R6年(1学期)児童アンケート】(姿勢)</td><td>81%</td></tr> <tr><td>【R6年(後期)児童アンケート】(体を動かす)</td><td>89.5%</td></tr> <tr><td>【R6年(2学期)児童アンケート】(早寝)</td><td>63%</td></tr> <tr><td>【R6年(2学期)児童アンケート】(早起)</td><td>74%</td></tr> <tr><td>【R6年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)</td><td>66%</td></tr> <tr><td>【R6年(2学期)児童アンケート】(姿勢)</td><td>76%</td></tr> <tr><td>【R7年(前期)児童アンケート】(体を動かす)</td><td>86.5%</td></tr> <tr><td>【R7年(1学期)児童アンケート】(早寝)</td><td>66.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(1学期)児童アンケート】(早起)</td><td>74.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)</td><td>72.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(1学期)児童アンケート】(姿勢)</td><td>79.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(後期)児童アンケート】(体を動かす)</td><td>88.8%</td></tr> <tr><td>【R7年(2学期)児童アンケート】(早寝)</td><td>68.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(2学期)児童アンケート】(早起)</td><td>75.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)</td><td>71.0%</td></tr> <tr><td>【R7年(2学期)児童アンケート】(姿勢)</td><td>76.0%</td></tr> </table>		【R6年(前期)児童アンケート】(体を動かす)	88.2%	【R6年(1学期)児童アンケート】(早寝)	68%	【R6年(1学期)児童アンケート】(早起)	80%	【R6年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)	72%	【R6年(1学期)児童アンケート】(姿勢)	81%	【R6年(後期)児童アンケート】(体を動かす)	89.5%	【R6年(2学期)児童アンケート】(早寝)	63%	【R6年(2学期)児童アンケート】(早起)	74%	【R6年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)	66%	【R6年(2学期)児童アンケート】(姿勢)	76%	【R7年(前期)児童アンケート】(体を動かす)	86.5%	【R7年(1学期)児童アンケート】(早寝)	66.0%	【R7年(1学期)児童アンケート】(早起)	74.0%	【R7年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)	72.0%	【R7年(1学期)児童アンケート】(姿勢)	79.0%	【R7年(後期)児童アンケート】(体を動かす)	88.8%	【R7年(2学期)児童アンケート】(早寝)	68.0%	【R7年(2学期)児童アンケート】(早起)	75.0%	【R7年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)	71.0%	【R7年(2学期)児童アンケート】(姿勢)
【R6年(前期)児童アンケート】(体を動かす)	88.2%																																							
【R6年(1学期)児童アンケート】(早寝)	68%																																							
【R6年(1学期)児童アンケート】(早起)	80%																																							
【R6年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)	72%																																							
【R6年(1学期)児童アンケート】(姿勢)	81%																																							
【R6年(後期)児童アンケート】(体を動かす)	89.5%																																							
【R6年(2学期)児童アンケート】(早寝)	63%																																							
【R6年(2学期)児童アンケート】(早起)	74%																																							
【R6年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)	66%																																							
【R6年(2学期)児童アンケート】(姿勢)	76%																																							
【R7年(前期)児童アンケート】(体を動かす)	86.5%																																							
【R7年(1学期)児童アンケート】(早寝)	66.0%																																							
【R7年(1学期)児童アンケート】(早起)	74.0%																																							
【R7年(1学期)児童アンケート】(ハンカチ)	72.0%																																							
【R7年(1学期)児童アンケート】(姿勢)	79.0%																																							
【R7年(後期)児童アンケート】(体を動かす)	88.8%																																							
【R7年(2学期)児童アンケート】(早寝)	68.0%																																							
【R7年(2学期)児童アンケート】(早起)	75.0%																																							
【R7年(2学期)児童アンケート】(ハンカチ)	71.0%																																							
【R7年(2学期)児童アンケート】(姿勢)	76.0%																																							
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析																																								
<p>年度目標</p> <p>①【進捗状況】4・5年生において、目標値の38%を大きく上回っている。昨年度と比較して6年生は大きく下回る結果となったが、6年生の学校アンケートでは自分の考えを表現することができていると感じている児童は78.3%であった。</p> <p>【結果と分析】研究授業を中心に算数科以外の教科の学習でも学級の友だちと話し合う活動を取り入れ、実践してきた結果と考える</p> <p>②【進捗状況】運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な</p>																																								

割合 71.1%を上回った学年は 4・5 年生。3 年生に関しては、目標より 10 ポイント近く下回った。しかし、肯定的意見は 85.4%であった。

【結果と分析】学校全体での取り組み「かけあし週間」「なわとび週間」や学級で行う「みんな遊び」を行った。その結果、取り組みがきっかけで外に行く児童が増えた。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

①【進捗状況】 学校アンケートの「自分の考えを表現することができますか」の項目は昨年度後期には達していないが、前期よりも向上しており、おおむね達成している。また、「本を見たり、読んだりすることが好きですか」の項目においては、昨年度の水準には届いていないが前期より向上している。

【結果と分析】研究授業や公開授業を多数実施し、討議会の中で活発な意見交流をすることで、児童の知的好奇心や表現力を育てる方法をさぐってきた。夏季休業中には実技研修会を行い、指導力向上を目指した。学校図書館の利用率は減る傾向にあるが、平野図書館の団体貸し出し、学年の本棚、読み聞かせなど本に親しむ環境づくりに努めた。

②【進捗状況】全校児童参加のなわとび週間やかけあし週間の時期は、子どもたちがクラスで誘い合ったり、競い合ったりしながら、意欲的に外に出て活動している。また、体育ではNHK for school やタブレットの「追っかけ再生」などを使い、子どもの意欲的活動につながる取り組みを行った。

【結果と分析】学校アンケート「体を動かすこと（遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的な割合は 90%を下回る結果となった。健康チェック週間におけるアンケートの項目で、（早寝）（早起き）の項目は前年度より上回る結果となった。（ハンカチ）（姿勢）の項目は前年度より下回る結果となった。夏は暑さで外に出ることができなかつたり、冬は運動場が半分になつたりと、外に出て遊ぶ機会が少なかった。また、健康に関して、毎月の保健目標が学級で貼るだけになっている。

次年度への改善点

年度目標

- ①さらに深い学びを生むための発問・声かけの工夫を図るなど授業改善に取り組む。また、グループでの学習に消極的になりがちな児童への支援の仕方を模索していく。
- ②振り返りカードを活用し、自分の学習を振り返られるようにする。NHK for school を取り入れるなど、スポーツや運動に対する意欲を高めていく。また、授業だけではなく休み時間等の中で体を動かす楽しみを味わわせる工夫を行う。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

- ①実技研修会やメンター研修会を計画・実施するだけでなく、様々な場面から学びとろうとする意識をもつ。運動場がつかえないときは積極的に図書館利用を促すようにする。
- ②来年度は運動場の半分や講堂が使えないため、外に出る機会が少なくなる。全校児童参加の取り組みもできない可能性があるため、運動する場所の確保や運動する時間の確保が大事になってくる。また、健康チェック週間では、保健目標を教室に貼るだけでなく、教員が毎月の目標に合った話をし、意識を高めさせる。

大阪市立加美東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																																																																					
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く。]</p> <p style="text-align: right;">令和7年度 16.4%</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="10">令和7年</th> <th colspan="3">令和8年</th> <th rowspan="2">年間達成率</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育委員会が設定した授業日数</td> <td>0</td><td>19</td><td>20</td><td>13</td><td>4</td><td>20</td><td>16</td><td>13</td><td>17</td><td></td><td></td><td></td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>日別活用率が90%以上の日数</td> <td>0</td><td>3</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>2</td><td>0</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>年間達成率</td> <td>-</td><td>15.8%</td><td>20.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>25.0%</td><td>12.5%</td><td>0.0%</td><td>35.3%</td><td></td><td></td><td></td> <td>16.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ゆとりの日の設定を月2回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては3日以上設定する。</p> <p style="text-align: right;">ゆとりの日: 月2回設定 学校閉庁日: 夏季休業6日、冬季休業3日</p> <p>・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。</p> <p style="text-align: right;">年次有給休暇10日以上取得(2月10日現在)96.7%</p>		令和7年										令和8年			年間達成率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	教育委員会が設定した授業日数	0	19	20	13	4	20	16	13	17				122	日別活用率が90%以上の日数	0	3	4	0	0	5	2	0	6				20	年間達成率	-	15.8%	20.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	35.3%				16.4%	B
		令和7年										令和8年				年間達成率																																																						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																										
教育委員会が設定した授業日数	0	19	20	13	4	20	16	13	17				122																																																									
日別活用率が90%以上の日数	0	3	4	0	0	5	2	0	6				20																																																									
年間達成率	-	15.8%	20.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	35.3%				16.4%																																																									

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】 日常的に子どもたちがICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する主体性の向上につなげる。</p> <p>・1人1台端末の環境を活かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取り組みを行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>・学校アンケートの「学習でタブレット端末を進んで使うことができている」や「知りたいことをインターネットで調べることができますか」(3~6年)などのICT機器の活用に関するすべての項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【R6年(前期)児童アンケート】(進んで使う)86.9% 【R6年(前期)児童アンケート】(調べる)73.3% 【R6年(後期)児童アンケート】(進んで使う)88.1% 【R6年(後期)児童アンケート】(調べる)83.5% 【R7年(前期)児童アンケート】(進んで使う)78.8% 【R7年(前期)児童アンケート】(調べる)86.9% 【R7年(後期)児童アンケート】(進んで使う)83.6% 【R7年(後期)児童アンケート】(調べる)86.2%</p>	B

取組内容②【**基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり**】働き方改革を推進する。

- ・ゆとりの日(会議なし、18時まで退勤)を月2回以上設定する。

指標

- ・時間外勤務時間が月45時間以上の教員の割合を20%以下にする。
- ・教員の一人当たり平均時間外勤務時間を前年度より縮減する。

月45時間以上の時間外勤務の割合(カッコ内は昨年度)

4月：27.27%(36.67%)	5月：6.06%(23.34%)	6月6.06%(23.33%)
7月：0%(10%)	8月：0%(0%)	9月：0%(3.45%)
10月：9.68%(0%)	11月：0%(0%)	12月：3.23%(0%)

B

平均時間外勤務(カッコ内は昨年度)

4月：25h49m(34h44m)	5月：24h01m(30h38m)
6月：24h35m(29h38m)	7月：18h10m(23h17m)
8月：4h32m(5h53m)	9月：20h04m(23h39m)
10月：26h43m(30h27m)	11月：16h37m(27h41m)
	12月：16h43m(18h53m)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標

- ①【**進捗状況**】学習者用端末を児童の8割以上が活用した日数は、20%以下と目標を下回っている。
【**結果と分析**】学習者用端末の月平均利活用率は70%以上になっている月も多いものの80%を超えた日は少なく、また、各学級で声掛けなどを行っているものの「心の天気」の登録状況が低い状況が続いている。
- ②【**進捗状況**】ゆとりの日を月2回設定した。会議や研修が入る場合は別の日に振り替えを行った。また、学校閉庁日は夏季休業中に6日、冬季休業中に4日設定することができた。
【**結果と分析**】ゆとりの日を月2日実施に向けて、引き続き業務内容の改善や多数ある行事の精選が必要。
- ③【**進捗状況**】2月10日現在、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合は96.7%である。
【**結果と分析**】今年度末までにすべての教職員が年次有給休暇を10日以上取得できる予定である。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

- ①【**進捗状況**】タイピングソフトでローマ字の入力練習、インターネット検索で調べ学習、SkyMenuやパワーポイントを活用した学習のまとめ、スプレッドシートの共同編集機能を活用したプレゼンテーションの資料作りや文集作成、各教科でのCanvaの活用(クイズづくりなど)各学年の習熟度や能力に応じて日々の学習活動の中で、学習者用端末が活用されている。また、体育のダンスや音楽の歌唱、リコーダーの運指の指導でTeamsを使用することで、動画を見ながら繰り返し練習することができた。
【**結果と分析**】R7年度(後期)の児童アンケートでは、「進んで使う」項目では、83.6%(前期比+4.7%)、「調べる」項目では、86.2%(前期比-0.7%)で、ともに肯定的な意見の割合を80%になった。また、学習者用のChromebook更新以降(11~12月)の学

習者用端末活用率も前年度に比べて 16%程度上昇した。新しい学習者用端末になったことで、より積極的な活用がなされたと思われる。

- ②【進捗状況】4月と比較して時間外勤務時間が月45時間以上の教員の割合が減少していき、5月より10%を下回っている。また、12月末現在の教員の一人当たり平均時間外勤務時間(累計)は19時間54分と前年度の24時間54分より5時間下回った。

【結果と分析】昨年度に引き続き、業務内容の改善や多数ある行事の精選などをはかり、教職員の労働環境の改善に取り組んできた。また、本年度より通知表を前期・後期制に変更することで、学期末の仕事を分散することができた。

次年度への改善点

年度目標

- ①引き続き、「学びのポータル」(心の天気)の入力の習慣化やデータの活用を行うようにする。
- ②ゆとりの日を月2日実施に向けて、引き続き業務内容の改善や多数ある行事の精選が必要。
- ③今後も継続して職場環境の改善に取り組んでいく。また、年間授業時数や会議等を見直し、放課後にゆとりをもって働くことができる時間を確保する。

年度目標の達成に向けた取り組み内容、進捗状況を測る指標

- ①普段の授業のさまざまな場面で学習者用端末の活用がなされているので、引き続き取り組みを進めていく。
- ②今後も継続して職場環境の改善に取り組んでいく。